

行岡病院について

行岡病院 院長

行 岡 正 雄

行岡病院の始まりは、昭和の初期から現在の阪急沿線淡路駅の地に外科医院を開設していた創設者 行岡忠雄が、その当時、骨折、捻挫に対して卓越した治療技術を持っていた柔道整復術に着目し、その体系的な教育の必要性を痛感し、大阪接骨学校を開設したことにその源を有しております。行岡忠雄は、旧制大阪医科大学を卒業し、ヘルテル外科学講座に入局して外科学を学び、その後、東北大学で副手として勤務し開業した訳ですが、開業してみても患者には骨折、脱臼、捻挫が多いことに気がきました。ただ、その当時は大阪大学にはまだ整形外科講座はなく、そこで日本古来の柔道整復術に着目したようです。接骨学校は昭和7年に申請認可され、昭和9年にはその臨床実習病院として行岡外科病院が誕生致しました。筆者が子供の頃の1950年代初頭、現在の病院の敷地内に外来や病棟に加えて

自宅があり、その間にウサギやラットの動物舎がありました。

その当時は、ウサギやラットは我々子供の格好の遊び仲間でしたが、ふり返ってみるとそれは実験動物で、今となっては研究の詳細は分かりませんが、恐らく電気刺激によって骨折の治療過程を促進しようとしていたようです。このように研究施設も含めての病院を考えていたようで、昭和25年の法人組織化に伴って医療法人 行岡医学研究会 行岡病院と名付けております。また当院は、平成28年1月に法人格を変更しておりますが、創設者の理念に従って社会医療法人 行岡医学研究会 行岡病院と、法人名は従来どおり継続して現在に至っております。

このような病院誕生の歴史から、行岡病院は、ケガの救急病院として今日まで発展して参りました。そのため診療形態は、当初は整形外科主体で、骨折、脱臼等の外傷を多く扱う病院として特徴付けられていましたが、その伝統は今日においても引き継がれております。しかしながら現在では、これに加えて内科、外科、脳外科、眼科、小児科、耳鼻科、リハビリ科、口腔外科等、産婦人科、精神科を除いて一応すべての科を標榜しております。また、行岡病院創設時からその主体であった整形外科は、17名の常勤整形外科医（行岡医療大学5名を含む）のも

と、肩、膝を中心にスポーツ障害を扱うスポーツクリニック、関節リウマチ（RA）やリウマチ疾患を扱うリウマチクリニック、手や肘の疾患を専門的に診る手の外科クリニック、腰痛や頸椎症などを診る脊椎クリニック等に分科しております。このように整形外科が専門分科することは、ある意味ではその進歩・発展に貢献するものと考えますが、他方、当院の原点である骨折脱臼の救急医療が損なわれている可能性もあり、今後の課題であると考えております。

許可病棟は347床で、ハイケアユニット8床、DPC対応の7・1看護の一般病床174床に加えて、障害者病棟10・1看護の51床、回復期リハビリテーション病棟56床、療養病棟I群56床のケアミックスで構成されています。

当院の病棟の特色は、ハイケアユニットやDPC対応病棟では一般的な入院患者、すなわち手術予定や救急患者等を対象としております。

【回復期病棟（56床）】は、脳卒中や骨折等の急性期治療が終了後の患者さんで、リハビリを中心として行う病棟ですので、適応の患者さんがおられましたら、ぜひ御紹介いただけたらと思います。

療養型病棟（56床）は、在宅等での管理が困難な患者さんを扱う病棟です。

障害者病棟は、当院で最も特色のある病棟で、治療費の出来

高払いとある程度の長期入院が認められておりますので、これまでは治療費、特に薬価の高い重症の関節リウマチ（RA）の患者さんの最後の砦として運営してきました。現在RAは生物製剤等新しい治療法が登場することによって、治療のパラダイムシフトが出現し、RAが重症化する割合は非常に少なくなつたと考えられますが、現在でもなおSLEや皮膚筋炎等難治性で治療薬剤が高額で長期入院の必要なリウマチ性疾患の継続した治療には適した病棟ではないかと思っております。また、この病棟では整形外科リウマチ専門医指導医3名、内科系リウマチ専門医3名（内1名指導医）の内科系・整形外科系の医師が連携して治療にあたる体制が出来ておりますので、リウマチ疾患（膠原病）で長期入院加療が必要な患者さんがおられましたら、ぜひ御紹介いただけたらと思います。

(手術例数)

2017年からの手術数を記載致します。コロナの影響でここ2年間は手術数の減少がみられています。

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
眼科	683	702	734	758	582
外科	81	84	77	61	67
整形外科 (スポーツ整形外科・ リウマチ科を含む)	1,470	1,469	1,490	1,254	1,118
脳神経外科 (脊椎・脊髄センター含む)	81	91	92	73	70
形成外科	8	13	8	15	13
その他	53	62	72	82	77
合計	2,376	2,421	2,473	2,243	1,927

院は『協同』としておりますが、これは医療は医師のみで行うものではなく、医療従事者の協同で行うという昭和7年の創設者の理念を踏襲したもので、現在のチーム医療にあたるものと考えています。理念の『やさしい医療』とは、身体を機械の部品のように考えて治療するだけではなく、身心両面から見ていくことを意味しておりますが、まだ道半ばです。病院自体は昭和9年から増改築を続けてきましたので、タコ足的に旧館、新館が入り乱れており、病棟も古いまままで近隣の病院が全て新しくなっていることから、早急な対応が必要なものと思っております。建物は古いものでは築60年以上のものもあり、現在一部を解体しつつ、診療を行いながら新病院の建築を行っております。病院の一部を解体しながら新病院を建設することは大阪ではあまり前例がありませんので、設計士さんに「これが上手く行けば設計会社のスキルアップに繋がる」とはっぱをかけています。

最後に当院の概要を記載致します。

設 立	昭 和 9 年 10 月
設 立 主 体	社 会 医 療 法 人 行 岡 医 学 研 究 会
院 長	行 岡 正 雄
職 員 数	4 0 0 名
許 可 病 床 数	3 4 7 床

診療科目

整形外科・スポーツ整形外科・外科・リウマチ科・脳神経外科・リハビリテーション科・眼科・内科・消化器内科・消化器外科・麻酔科・耳鼻咽喉科・歯科・歯科口腔外科・皮膚科・泌尿器科・精神科・小児科・放射線科・放射線診療科

施設基準

一般病棟 235床
(看護職員配置7…1 入院基本料／障害者病棟 看護職員配置10…1 51床含)
ハイケアユニット 8床
療養1群入院医療管理 56床
回復期リハビリテーション病棟 56床
救急・労災指定病院
訪問看護ステーション
デイ・ケア(通所リハビリテーション)
居宅介護支援事業所
厚生労働省指定臨床研修病院
厚生労働省指定歯科医師臨床訓練施設
育成医療・厚生医療指定自立支援医療機関
(財)日本医療機能評価機構(Ver.6)及び付加機能(リハビリ)認定施設
日本整形外科学会認定制度による研修施設

学会認定

関連施設

日本リウマチ学会認定施設
日本リウマチ学会教育施設
日本リハビリテーション医学会研修施設
日本脳神経外科学会専門医認定制度における指定訓練場所
日本外科学会外科専門医制度関連施設
日本消化器内視鏡学会認定指導施設
日本眼科学会専門医制度による研修施設
日本手外科学会認定研修施設
日本麻酔科学会認定病院
日本呼吸療法医学会呼吸療法専門医研修施設
学校法人 行岡保健衛生学園
大阪行岡医療大学
行岡医学技術専門学校
大阪行岡医療専門学校 長柄校